

2025(令和7年)度「自然観察会」(共催)の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	「夏の森の観察会」 (桂コース/折り返し約2km、一部ふれあい広場周辺も活用)	
開催日時	2025(令和7)年8月3日(日)9:50-12:00	
天 候	晴 日最低気温24.7℃ 日最高気温31.2℃ (アメダス札幌)	
参加状況	一般参加者:41人、7班/ ボラレン:14人(前日、話題提供・下見会16人) うち、子ども7人含む14人でファミリー2班編成(ガイド3名体制)	
観察記録 主なもの	草 本	(開花)カノツメソウ、キンミズヒキ、ミズヒキ、ノブキ、ケチヂミザサ、ハナタデ、ミズタマソウ、ダイコンソウ、ミヤマヤブタバコ、ゴボウ、キツネノボタン、ハエドクソウ、アマチャヅル オオバコ、ミヤマトウバナ、ミミコウモリ、ヨブスマソウ、ヤブハギ、 ( 蕾 )ツルニンジン、ケカナダアキノキリンソウ、サラシナショウマ、 (果実)オオウバユリ、コウライテンナンショウ、ミツバ、ヨツバヒヨドリ、ルイヨウボタン、
	木 本	(開花)ノリウツギ、 (果実)エゾニワトコ、ツルシキミ、
	シ ダ	クサソテツ、オシダ、ミヤマベニシダ、オウレンシダ、ホテイシダ、ヘビネゴザ、ジュウモンジシダ、
	野 鳥	シジュウカラ、
	その他	サッポロマイマイ、エゾマイマイ、オカモノアラガイ、オオヒラタシデムシ、ナガコガネグモ、エンマコウロギ、バッタ類、ナツアカネ、ノシメトンボ、ヨフシハバチの泡巣 *遊歩道から約10m、高さ6mほどの樹洞にスズメバチの巣を確認
感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子チームと一般に分けての班編成による観察会。親子チームは、虫取りをメインに行う。ナガコガネグモの俊敏さに驚く。オオバコの葉脈抜き、ヒメスイバ、カタバミの10円玉磨きで盛り上がる。</li> <li>・親子チームの円滑な対応には、スタッフの増員が不可欠。会員の積極参加を。</li> <li>・各班、こまめな水分補給と休憩を挟み、無事時間内にガイド活動を終えた。</li> </ul>	



自然ふれあい交流館前庭での開会式から



昆虫を観察する子どもたち



手のひらに載、ルーペで観察



一般参加者のガイド風景



ミズタマソウ、ツルシキミ

(記録担当:小林英世、写真:蔵谷徳洋、渡辺健策)